

令和8年度（4月入学） 京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科  
 博士後期課程 一般入試（第I期） 口述試験の概要

専攻名	口述試験の概要
バイオテクノロジー専攻	<p>修士課程あるいは社会人としての勤務の中で行ってきた研究の概要の説明に加えて、博士後期課程における研究計画の説明を求め、専門的な知識や研究遂行能力が十分であるか、標準修業年限内に博士号を取得できる見込みがあるか、指導教員と適切にコミュニケーションがとれているかなどを確認した。</p>
物質・材料化学専攻	<p>受験者が修士課程で研究した専門分野について、その背景や目的から研究内容に対して結果と考察を簡潔かつ単純明快に説明するとともに、試験員からの質疑やコメントに的確に回答できることを審査した。また、本学博士後期課程で研究する専門分野に関する研究背景と研究計画を説明し、その研究方針についても質疑・コメントに的確に返答できることを審査した。</p>
電子システム工学専攻	<p>受験者は事前に現在までの研究と博士後期課程で取り組む研究についてプレゼンテーション資料を作成し、その資料を基に発表を行った。その発表について、研究に関する専門的知識の習熟度や論理的思考力、研究遂行能力、プレゼンテーション能力、研究者としての資質などを総合的に評価し、博士後期課程での研究遂行に適する能力を有するか判定した。</p>
設計工学専攻	<p>(情報工学分野)        受験の動機、入学後の抱負などに関する質問の後、受験者が大学において身につけてきた学力・研究力を判定するために、これまでの研究、および、これからの研究計画に関するプレゼンテーションを行い、さらに質疑応答を行った。</p> <p>(機械物理学分野・機械設計学分野)        受験者が現在取り組んでいる研究内容と博士後期課程入学後の研究計画に関するプレゼンテーションに基づき質疑応答を行い、研究分野に関する専門的学力と研究力を確認した。</p>
建築学専攻	<p>志望動機と希望指導教員を聞いた上で、研究計画書に基づいて博士後期課程における研究計画について10分程度の説明を求めた。質疑では主に研究計画におけるテーマ、方法、先行研究との関係、現段階での研究の進捗状況を問い、研究に対する理解度や研究の実現可能性を確認した。また、博士後期課程修了後に希望する進路についても質問を行った。</p>